

第21回 日本人間関係学会大会

一步前へ

『老子』の16章（帰根）は、次のような言葉で始まります。「致虚極、守静篤、萬物竝作、吾以觀其復。」（虚(きょ)を致(いた)すこと極(きわ)まり、静(せい)を守(まも)ること篤(あつ)ければ、萬物(ばんぶつ)並(なら)び作(おこ)れども、吾(われ)もつて其(その)の復(かえ)るを觀(み)る)。この出だしの言葉は、毎日の生活の中に、無為自然になりきることができれば、自ずから虚空が訪れて、これまでにいくわしたことがないような社会の変化に、一喜一憂することもなくなり、じたばたすることもなくなり、生まれながらに持って生まれた「こころ」と「からだ」に素直に従って生きていけば、賢いの愚かだの、善いの悪いの、早い遅いの、面白いの駄目だの、得だの損だの等々、目先の細事にばかりこころが奪われることもなくなり、静寂の中に、平穩無事に、自然に尽き果てるところまで辿り着くことができると解説してありました。

また、2年前に亡くなられた小説家の立松和平さんの『道元禅師（上）・（下）』（東京書籍）の中に次のような文章がありました。「道を得るということは、一人の力で得るといふより、諸々の縁によるものである。一人一人は鋭い力を持つてはいるのだが、道を行ずることは、同行の修行僧の力が合わさっているからできるのであって、今は心をひとつにして道を求めるべきである。玉は磨くからこそ器にもなるのである。人は練磨することによってすぐれた人格となることができる。どんな玉でもはじめから光があるわけではない。どんな人でもはじめから賢者であるわけではない。必ず磨き、修練するからこそ、器ともなり人格者ともなるのである。自分を劣ったものとみなして、学道を緩くしてはいけない。（下巻237頁）」と記されていました。

日本人間関係学会の会員と会員、1人1人が諸々の縁によって集まり、自己と他己を磨きあがる場になることを願い、第21回大会を半年後の11月初旬に、東京理科大学の新しい葛飾キャンパスで開催致します。皆様のご参加をこころよりお待ちしております。

第21回全国大会委員長 伊藤 稔

1. 会期および会場

会 期 : 2013（平成25）年11月2日（土）・3日（文化の日）
会 場 : 東京理科大学（葛飾キャンパス）

2. テーマと主要プログラム

大会テーマ「一步前へ」

大会第1日目	2013年11月2日（土）	大会第2日目	2013年11月3日（文化の日）
10:00～開会式 大会講演（大会会長 講演など）		10:00～特別公開講演（一般公開） 「秋山仁先生」	
12:00～休憩（常任運営委員会）		11:10～記念撮影（希望者のみ）	
13:00～口頭発表・体験発表		11:30～昼食休憩（弁当）	
15:00～企画シンポジウム（委員会主催） 自主ラウンドテーブル・自主シンポジウム ワークショップ		13:00～大会企画シンポジウム 「人間関係の面白さ ～人生のヒントになる人間関係の話～」	
17:00～総会		15:30～閉会式	
18:00～懇親会（会場：大会会場内）			

3. 研究発表の要領

① 発表者の資格

発表者は、2012（平成24）年度本学会年度会費を納入済みの学会員であることが必要です。連名発表者も同様です（シンポジウム・ラウンドテーブル・ワークショップ 除く）。

② 発表の手続き

- イ) 発表者および連名発表者は、7月7日（日）までにメールにて参加申し込みください。詳しくは『9. 発表申し込み・参加申し込み方法』をご覧ください。
- ロ) 参加申し込み締め切り後、申し込み多数の場合は審査・調整を行います。審査を合格された方に対しては、7月中旬までに要旨執筆を依頼いたします。
- ハ) 発表者には、大会参加費（前納参加額）および一件ごとに発表形式別の要旨掲載費を請求いたします。要旨掲載費については、連名発表の場合は原則として責任発表者が納入ください。いずれも、納入期限は7月末日となります。
- ニ) 発表要旨は、口頭発表・体験発表ともにA4用紙2頁に3000字程度の原稿を作成し、7月29日（月）までに提出いただきます。提出方法、書式についての詳細は『4. 執筆要項』をご確認ください。

③ 研究発表方法

研究発表には、A)口頭発表 B)体験発表の2形式があります。

- A) 口頭発表：一人の持ち時間は20分（発表15分、質疑と討論5分）の予定です。なお、使用できる機器は、PC（パワーポイント）・プロジェクターです。ご利用の場合は予めお申し出下さい。その他の使用機器は別途ご相談ください。
- B) 体験発表：一人の持ち時間は60分（発表、質疑、討論の時間配分は自由）の予定です。なお、使用できる機器については口頭発表と同様です。

④ その他の発表

研究発表のほかにA)自主ラウンドテーブル B)自主シンポジウム C)ワークショップの3形式があります。

- A) 自主ラウンドテーブル：企画者が司会者（1名）および話題提供者または発表者（2～3名）を決め、約2時間プレゼンテーションとフロアーとの自由な討議を行うもので、人間関係についての今日的課題をテーマや内容としてください。
- B) 自主シンポジウム：企画者が司会を担当し、指定討論者（1～2名）および話題提供者または体験者（2～4名）を決め、約2時間企画者の采配でフロアーとの自由な討議を行います。
- C) ワークショップ：本学会の委員会や部会の企画による研修の場として用意しております。

⑤ 発表要旨集

発表者には発表要旨原稿を提出していただきます。発表要旨原稿は、そのまま製本し要旨集として大会のガイド、そして研究上の貴重な文献資料といたします。

4. 執筆要項

- ① 発表形式1件につき「発表要旨」を1部提出していただきます。原則として原稿はそのまま印刷されますが修正が必要な場合は大会委員長の判断のもと修正を行いますので予めご了承ください。
- ② 発表要旨は、1つの発表につきA4版の2頁分で作成ください。タイトル（ゴシック体・14ポイント・中央寄せ）、サブタイトル（必要に応じて）（ゴシック体・12ポイント・中央寄せ）、発表者名（ゴシック体・11ポイント・中央寄せ、連名発表の場合

は責任発表者に○をつける)、200文字程度の要約文(明朝体・10ポイント・1段組み)、キーワード(ゴシック体・10ポイント・中央寄せ・和文6語以内)、本文(明朝体・10ポイント・2段組み)3000文字程度の内容を記載します。
レイアウトについては、学会ホームページ上に見本となるファイルを掲載いたしますのでダウンロードしてご利用ください。

- ③ 提出方法は、メール添付にて大会事務局までお送りください。メールの件名には『【発表要旨】発表形式：発表者氏名(責任発表者名)』を記入してください。アドレスは、jahr.taikai@gmail.com(大会事務局)です。添付ファイルの形式は、MicrosoftWord、一太郎またはPDFでお願いいたします。

5. 公開特別講演

- ① 題目：講師・秋山仁氏(東京理科大学教授・理数教育研究センター長)
② 日時：11月3日(文化の日)10:00~11:00
③ 秋山仁氏プロフィール：東京理科大学理学部卒、上智大学大学院理学研究科数学専攻修士課程修了。博士(理学)東京理科大学

6. 企画シンポジウム

- ① テーマ：「人間関係の面白さ—人生のヒントになる人間関係の話」
② 企画：本学会会長 小山望
③ 日時：11月3日(文化の日)13:00~15:00
④ 要旨：さまざまな分野の人間関係にまつわる話を各界のシンポジストを招いて行います。

7. 総会

本学会の年間活動報告・事業計画・予算決算などの審議を行います。

8. 懇親会

日時：11月2日(土)18:00~20:00
場所：大会会場キャンパス内(予定：当日ご案内いたします)
会費：前納5,000円、当日6,000円(前納は、9月30日まで)

9. 発表申し込み・参加申し込み方法

学会ホームページ(<http://www.jahr.jp/taikai.htm>)に掲載の『発表申込書』または『参加申込書』に申し込み事項を記入の上、大会事務局(20回大会専用アドレス：jahr.taikai@gmail.com)宛てメール添付にてお送りください。

発表申込受付は7月7日(土)まで、参加申込受付(前納対象者)は9月20日(金)までといたします。参加について試案中の方については期日までにご一報いただければと思います。質問等もお気軽にお問合せください。

なお、発表・参加お申込みの際に当日のお弁当(一食1,000円お茶付)のご予約も承りたいと思いますのでご希望の方は忘れずにお申込みください。

